

## ひび割れ・減肉 放置の「維持基準導入」を阻止しよう！ 経済産業省 原子力安全・保安院を7・4交渉で追及しよう！

**日時：7月4日(金) 午後2時～3時**

**場所：衆議院第2議員会館 第3会議室**

<参加者集合>

午後1時に(時間厳守)場所は交渉場所と同じ(紹介議員は北川れん子社民党議員)  
(地下鉄丸の内線 国会議事堂前)または 千代田線 国会議事堂前)下車、歩5分)

全国の皆様の団体、個人の賛同をぜひお願いします。皆様との連名で、別紙の公開質問状(案)を提出し、政府の責任を徹底的に追及したいと思います。案にご意見をお寄せ下さい。交渉に一人でも多くご参加下さい。また、全国各地からの参加者には交通費の半額をカンパで賄いたいと思います。1口1千円で何口でもカンパをお寄せ下さい

郵便振込 口座番号：00940-2-100687 (加入者名 若狭ネット)

Eメール：wakasa@gaea.ocn.ne.jp

このことについては、以下のところへ連絡してください。

TEL/FAX 0729-39-5660 (久保方) または FAX 072-330-1630 (若狭ネット専用)



(6月7日 東京代々木公園「子どもたちに核も原発もない未来を」5千人参加)

## 維持基準の導入を阻止しよう

日本の政府は、今年10月の施行をめざし、「少々ひび割れが発生しても修理せずに原発運転を続行できる維持基準」を導入しようと具体的に検討しています。今まさに重大な局面を迎えています。

私たちは全国の仲間と共に、この維持基準の問題に継続して取り組み、矛盾を明らかにしながら、対政府交渉を何度も重ねてきました。大詰めの交渉を7月4日に予定しています。「公開質問状」で政府を追及し、維持基準の撤回を強く求めましょう。

維持基準導入のねらいは、原発の老朽化が進む中で、いちいち修理していたら原発の発電コストが高くなるからにほかなりません。原発の「安全性」を切り縮める危険な動きを絶対に許すわけにはいきません。

これまでの政府の回答を見ると、「原発の『安全基準』の水準が新設のときと運転開始後で異ならない」と言い、「ダブルスタンダードでない」と言っています。しかし、驚くべきことに、何の検討もしないまま「ダブルスタンダードでない」と決めつけていたのです。

「ひび割れや減肉が起こっている原発で地震に耐えられるか」という問題では、国立防災科学センターと防災科学技術研究所の2つの実験結果から、ひび割れがあっても地震には大丈夫だと回答しています。しかし、これら2つの報告書を読み返すと、「配管の折れ曲がったところにひび割れがはいっている場合、ひび割れと減肉が同時に起こっている場合、複数箇所で起きている場合などでは、地震に耐えられないかもしれない」として、この研究を続行しているのです。現実の原発ではいろんなところで複数のひ

び割れ、減肉が起こっているのに、どうしてウソを言い、さも安全であるかのように宣伝し、私たちをだまそうとするのでしょうか。

30年間の原発推進によってボロボロ出るほころびは、日本社会の破滅への道の警鐘に思われてしかたありません。政府、電力会社がしがみついた原発の延命策をなんとしても阻止しなければなりません。一日もはやく危険な原発を止めていくために、維持基準導入に反対し、徹底して闘いましょう。

緊急ですが、7・4交渉に賛同、また、カンパをお願いします。ご支援をお願いします。交渉当日のご参加もお願いします。

## 「原発依存」県政を転換させよう

5月16日、私たちは、福井県庁へ出向き、西川県知事に『原発依存県政を転換してください』の申し入れをおこないました。

もんじゅについて、国は『控訴審判決は科学的に非論理的だ』として、あくまでも動かそうとしています。

海外で再処理されたプルトニウムは、ブルサーマルとして高浜3・4号で2007年に実施したいと関電は県に申し入れています。

敦賀3・4号増設計画は、建設費が高く、電力需要停滞のため、年先送りとなりました。

原発から出る使用済み核燃料は増え続けています。原発サイト内の増強策や中間貯蔵施設の建設を阻止し、原発を糞詰まりにして止めていかねばなりません。

六ヶ所再処理工場は、不正工事が発覚し、6月予定のウラン試験が大幅に延びています。稼働開始を阻止するチャンスです。

いろいろなところで矛盾が起こり、原発・核燃料サイクル政策の破綻が、露わになってきています。へこたれずに各問題に対して共にたたかっていきましょう。

今後の予定

6月21日(土)午後1時半から4時半

ダイオキシン関西ネット8周年集会

どんだん燃やせ、「リサイクル？」  
～市民をあざむく新エネルギー発電の正体～

会場 大阪市港区民センター 2階 (JR環状線「弁天町」下車 西へ5分)

主催 ダイオキシン関西ネット TEL(夜間) 06-6336-4154

7月4日(金)午後2時～3時

経済産業省原子力安全・保安院との交渉

場所：衆議院第2議員会館 第3会議室

(事前打ち合せを午後1時から同じ場所で行います。当日参加者は必ずこの会合に出て下さい。)  
当日参加される方は、久保まで(TEL0729-39-5660)

8月5日(火)午後1時半から4時

被爆58周年原水爆禁止世界大会 分科会

広島・長崎・東海村を結んでヒバクを許さない集い(Part4)

- 1 「劣化ウラン弾被害の実態調査報告」
- 2 東海村臨界事故の健康補償を求めて
- 3 未だ補償されない世界のヒバクシャ
- 4 原発労働者の労災認定を勝ち取る

会場 広島市南区 ワークピア広島

連絡 ヒバク反対キャンペーン

10月11日(土)午後2時から(1時半開場)

“チェルノブイリの祈り”の著者

チケット 前売り千円

スベトラーナ・アレクシエービッチ講演会

会場 アピオ大阪小ホール (JR環状線「森ノ宮」下車すぐ)

連絡 チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西 たなか0797-74-6091

編集後記

最近、核にまつわる きな臭い動きが、特に気になります。劣化ウラン弾、アメリカの小型核兵器開発、あくまでもプルトニウム利用路線を声高にさげふ日本政府などなど。

小・中学校へ行って、子どもたちにチェルノブイリ事故のことを話しています。ヒバクの恐ろしさを少しでも分かってもらいたいと、がんばっています。

きよ子